

中畜が牛肉輸出拡大に向け輸出戦略検討委員会を設置・検討開始

公益財団法人中央畜産会は11日に、輸出拡大及び日本食・食文化発信緊急対策事業(輸出に取組む農林漁業者等のきめ細かな支援)に基づき第1回目の「輸出戦略検討委員会」を開催した。この事業は農水省が平成25年4月に策定・公表した「農林水産物・食品の輸出促進のための具体的戦略」の中で、牛肉の輸出金額を平成24年の50億円から、平成32年には250億円に拡大させる目標を掲げている。そこで中畜は、国の具体的な戦略を補完するための事業として取り組み、牛肉輸出の安定的な拡大が図られるよう、輸出拡大のために必要な対応方を検討・取りまとめる輸出戦略検討委員会(座長・櫻井研公益財団法人中央果実協会理事)を設置し協議を重ねて行く計画。

今後は、定期的に委員会を開催し検討を進めるとともに、委員会の下に各種専門家を参集しての小委員会を設け、牛肉輸出に係る現状の把握、課題の分析、対応方法の策定等を検討する。合わせて日本産和牛を海外でジャパン・ブランドとして普及啓蒙するために必要な普及PR用素材(小冊子、パンフレット、DVD等)の作成、レストラン・ホテルのシェフ等を対象にした現地でのセミナー開催等も計画しており進めていく。検討委員は次のとおり。秋岡榮子(株)キャンデイド・プロデュースプロデューサー、井野岳司(株)ゼンミートプロセツサー(株)グループリーダー、上嶋棟一郎(株)エヒロ商事(株)社長、植村光一郎(株)ミートコンパニオン常務執行役、金井俊男(株)日本食肉格付協会会長、郷原康親貿易投資アドバイザー、櫻井研公益財団法人中央果実協会理事、谷清司(株)全農畜産総合対策部長、土谷眞寿美(株)チャーブレイン(株)ビジネスサポートアドバイザー、野須昭彦(株)伊藤ハム(株)食肉事業本部食肉事業部本部長、前田文男(株)日本ハム(株)食肉事業本部国内食肉事業部執行役員国内食肉事業部長、森田邦雄(株)全国発酵乳酸菌飲料協会専務理事。

大阪・阿倍野に13日、商業施設「あべのハルカス」がオープン

(株)近鉄百貨店は大阪市阿倍野区に來春、百貨店を建て替えて「あべのハルカス」(地下5階、地上60階)の地下2階と地上14階に入店する「あべのハルカス近鉄本店 タワー館」を13日、先行開業する。売り上げに直結しないイベントスペースを充実させ、滞在時間を延ばすことで購買量を増やす狙いなど、新しい百貨店を標榜している。隣接する「ウイング館」(地下2階と地上9階)は現在改装を進めており、全面開業時には売り場面積10万㎡の日本最大の百貨店になる。全面開業後の1年間で売上高1450億円、来店客数4500万人を目標とする。あべのハルカス高層部には美術館、オフィス、大阪マリOTT都ホテル、展望台の入居を予定。大阪の繁華街では近年、キタ(梅田近郊)の阪急百貨店の改装、グランフロント大阪の開業など、競争が激化。そんな中、阿倍野はキタ、ミナミ(難波近郊)に次ぐ大阪第3の都市として注目が集まっております。11年には商業施設「あべのキューズタウン」が建設される予定。